

# 活況を呈した体験フェスタ

実行委員長 中内 伊美子

第15回「青少年文化体験フェスタ」を、昨年12月13日、狭山市立御狩場小学校で開催しました。活況を呈したフェスタとして終了でき、喜んでおります。

今回は特に応募者が多く、且つ市内全域の小学校からの応募でした。せっかくの応募を大切にしたいと考え、講座によっては人員をふやして希望を調整させていただきました。中学生はボランティア5名を含む8名の参加があり、あわせて述べ355名の体験者でした。

ただし、連絡なしも含めて当日の欠席者も多かったのは、希望の調整を考えるともったいないことでした。

「狭山市子ども会育成会連絡協議会」の参加を受け入れたのが新しい試みでした。

今回も会場となっていたいただいた学校には、校長先生をはじめとして大変なご協力をいただき、また来賓も増え、大変ありがたいことと思います。

今回の盛会を前進ととらえ、反省を生かし更に前進を目指したいと考えます。



----- さやま ・ 文化の息吹 -----

## 梅后流「江戸芸かっぱれ」

「かっぱれ かっぱれ 甘茶でかっぱれ 元気なわたしは あなたに感謝」の掛け声は、誰もが昔からなんとなく耳に入っている掛け声の一つではないでしょうか。

かっぱれの語源は、「おかぼれ」。あなたに命がけで惚れました。私に出来ることをあなたにしてあげます。でも、見返りは決して求めません。という意味で、男女の恋愛はもとより、家族愛や人類愛など、広い意味での感謝、思いやりを表わす言葉です。

そのかっぱれは、江戸末期、大阪・堺の住吉大社の住吉踊りに源を発し、江戸は浅草・三社様境内で踊っていたのが始まりのようです。

かっぱれのメリハリのある男踊りは、見るからに元気で明るく、力強いその踊りは、市民会館、公民館などの舞台に、また各地の祭りのパレードで多くの皆さんに喜ばれております。

皆さんからの声援を励みに私たちメンバーは、お二人の指導者の下、月2回の稽古を重ね、「伊勢音頭」「深川」「大津絵」「奴さん」「かっぱれ」など9曲の踊りを研鑽しています。

(江戸芸かっぱれ 岡村記)

江戸芸かっぱれ「狭山道場」

- ・練習日 第2・第4金曜日(午後1時から4時)
- ・練習会場 中央公民館又はサンパーク奥富
- ・問合せ 狭山道場代表 岡野敏伊 電話:2952-2590

